

青い旅



いよいよ2学期がスタートしました。夏休みの間、子どもたちは、家庭や地域において元気良くさまざまな体験活動を行うなど、充実した生活を送れたでしょうか。

子どもが健やかに成長していくためには、自然や社会の現実に触れる体験活動はもちろん、家庭においても、食生活をはじめとした生活リズムを大切にして、「心安らぐ場所」である家庭で家族の絆を深めていくことが大切です。これから「実りの秋」「スポーツの秋」です。家族団らんの時間をつくってみてはいかがでしょうか。

現在の子どもを取り巻く社会環境は複雑・多様化しています。このような中、出雲市子ども支援センターには、毎日、たくさんの子どもや保護者の方から悩みや心配事の相談が寄せられています。長い夏休みのあとは、どうしても学校に行きづらい気分の子どもさんもうらっしゃるのではないのでしょうか。電話による相談も受け付けておりますので、一人で悩まず、気軽に下記までご相談ください。

子どもや保護者の悩みや心配ごとは 出雲市子ども支援センターに相談してください

出雲市子ども支援センターは、子どもの健やかな成長を願って活動しています。さまざまな悩みや心配ごとを抱える子どもや、その保護者などからの相談に対し、親身になって対応します。また、就労体験など、必要に応じて地域のボランティアなどの協力を得ながら、子どもたちの自立支援を図っています。

このような相談に応じます

- ◎非行や問題行動について
- ◎しつけや家庭教育について
- ◎性格や行動、身体や心の問題について
- ◎不登校・登校しぶりについて
- ◎ひきこもりについて

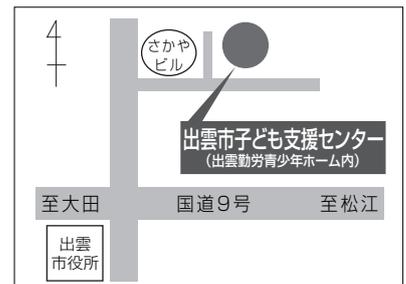
相談日時

- ◎月～金曜日 8時30分～18時まで
 - ◎土曜日……8時30分～17時まで
- (ただし、祝日・年末年始を除きます。)

相談方法

電話相談と面接相談(予約制)です。
まずは相談電話(フリーダイヤル)

ヤッホー ナヤム ナ
(0120) 84-7867 まで



●おたずね 出雲市子ども支援センター (☎ 21-4444)

～子どもたちの健やかな成長と安全を願って～

○「見守っています、子どもたちを」

～街頭パトロール活動から

子ども支援センターでは、専任少年委員を中心に毎週1回、子どもたちの安全指導などのため、市内各地をパトロールしています。専任少年委員は、JR 出雲市駅周辺やゲームセンター、カラオケボックス、大型スーパー、公園などを巡回し、気になる子どもがいれば「声かけ」もしています。

パトロール中

子どもたちのこのような行動に 声かけをしています

- 未成年の喫煙
 - ごみのポイ捨て
 - 落書き
 - 自転車の二人乗り
 - 店の前などでの座り込み
 - 多目的トイレの占用
- その他、人に迷惑をかける行為



早朝にパトロールをしたとき、「おはよう」とあいさつをしても返事が返ってこない子どもも多く見受けられました。最近、都市化が進み、隣近所に無関心になるなど、大人と同様に子どもも地域との関わりが希薄化しているのではないのでしょうか。子どもが健やかに成長するためには、身内(家族・親戚)だけでなく、世間(友達・地域)とのつながりも大切です。大人の方から子どもたちに積極的に声かけをしていきましょう。

○子どもの安全確保について

学校の登下校時を中心に不審者の出現が後を絶ちません。2学期も始まり、子どもの安全確保については万全を期さなければなりません。各地域においては、見守り隊や青パト隊が結成され、子どもたちを見守る体制が整い心強い限りです。家庭においても、安全で安心して過ごすための「わが家のルール」作りを、子どもたちとともに、実践していきましょう。



登下校時における不審者対応訓練の様子(東小学校)



「いかのおすし」のお勉強(稗原幼稚園)